

QuickTox アフラトキシン Free キット

アフラトキシンは主に熱帯地方に生育するカビ *Aspergillus flavus* などにより産生されるマイコトキシン（カビ毒）の一種であり、発ガン性を有することから、食品・飼料への汚染について世界的に監視・規制されています。日本においても食品中で総アフラトキシン濃度 10ppb、配合飼料中で 10~20ppb と上限基準値が通知されています。

QuickTox アフラトキシン FREE キットは、遺伝子組換え作物のテストで著名な EnviroLogix 社のラテラルフローテストで、コーン中のアフラトキシンを目視により 10ppb および 20ppb 基準でスクリーニング判定ができます。また抽出にエタノール・メタノールが不要です。

ラテラルフローテストでは、専用のスキャナリーダーシステムを用いてアフラトキシン、オクラトキシン、フモニシン、DON、ゼアラレノン定量できる QuickScan システムも用意されています。

（製造：EnviroLogix Inc.米国）

（rev.2020/07）

商品名	QuickTox™ アフラトキシン Free (3245EL1023)
価格	税別 43,000 円/キット
保管条件	冷蔵 2~8℃、湿気厳禁
製品内容	ラテラルフローストリップ 50 本（耐湿容器）、抽出バッファー塩 50 袋 反応バッファー1本、反応容器 50 個、ピペットチップ 50 個、
目的・用途	トウモロコシ中のアフラトキシンのスクリーニング検出
原理・性能	ラテラルフロー（イムノクロマト）法 10ppb 未満=2~3 分、20ppb 超=4 分
前処理	20 メッシュ相当まで破碎・均一化した試料 25g に抽出バッファー塩 1 袋と水 75mL を加え高速シェーカーで 1 分間激しく振とうし、ろ過(Max2 分)。
操作	ラテラルフローストリップの操作（室温に戻してから必要なストリップをとる） ①反応容器にバッファーと試料抽出液をそれぞれ 100μL ずつ加える。 ②カップ内をよく混ぜてから、ストリップ下端を浸す。 ③4 分後にテストラインの呈色を目視で確認する。 テストラインが呈色しない=20ppb 超の陽性と判断。※
他に必要な試薬器材	水、ミキサー・ミル1式、マイクロピペット フタ付きジャー、タイマー、ろ過用コーヒーフィルター（別売）



※Test と Control のライン 2 本が明瞭に現れれば 10ppb 未満。この場合約 2~3 分で判明します。